

淀川河川敷 大阪地区比較基線場端点の増設について

(社)日本測量協会 測量技術センター関西支所 係長 中 村 大 輔

測量技術センター関西支所では、平成17年2月より淀川河川敷（西島付近）に設置した当協会独自の比較端点を使用しGNSS測量機器の検定を実施してまいりましたが、本年4月より行われている淀川河川西島地区堤防強化工事に伴い、比較基線場の一部が消滅する事となりました。このため、平成24年3月28日に同河川敷最下流付近の当該工事区域外に、比較基線端点5点の増設作業を行いました。設置方法は既存端点の設置方法と同様に、端点鉤の他に三脚止めフォルダを各点3点設置（写真2. 増設点と脚止めフォルダ参照）し、バンドで三脚の先端を固定できるようにしています。年間を通し強い風が吹く淀川河川敷なら

ではの構造です。比較基線値の決定観測は、設置後、3ヶ月の養生期間を取ったのち、同年7月10日～12日にかけて（48時間の連続観測）実施しました。基線値の決定は、精密歴を用いた基線解析で24時間毎の較差を確認し、2日間の平均値により決定しました。

国土地理院への基線場登録変更は、同年9月27日に提出し、11月19日（登録変更年月日は10月15日）に登録変更が完了いたしました。

測量技術センターでは、検定のための施設や設備を充実させ、皆様の御要望に応えるよう努めてまいりますので、今後とも引き続きご利用頂けるようお願いいたします。



写真1 (亡失点周辺)



写真2 (増設点と脚止めフォルダ)



写真3 (観測風景)



写真4 (全体写真)